

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校施設管理用務業務委託				所管	教育委員会 庶務課				
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度					
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成16年度		
		[小 柱]							[終了予定] - 年度		
		[施 策]									
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則							
	事業対象	中学校7校									
	事業目的	用務職員の退職不補充に伴い、用務業務を含む施設管理業務を民間に委託することで、施設の円滑な維持管理を行う									
	事業内容	用務業務及び定期清掃 定期清掃…貯水槽清掃、プール清掃、窓ガラス清掃、カーペット清掃、体育館清掃、床ワックス塗布、換気扇・扇風機清掃、吸気口清掃、エアコンフィルター清掃、巡回清掃など									
委託の有無	全部委託	委託内容	用務業務委託、定期清掃業務委託								
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度				
	活動指標	委託実施校数	校	6	6	6	6				
	成果指標										
	決算額	(単位：千円)			51,136	49,452	49,451				
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			1,800	1,250	1,180				
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			51,137	49,453	49,451				
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			0	0	0				
		総経費			52,937	50,703	50,631				
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0				
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0				
一般財源（区負担額）			60,563	50,703	50,631						
前年度から改善した事項	民間業者への円滑な移行に努めるとともに、移行後の学校現場の状況を的確に把握し、業者指導を適切に行っている。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	用務職員の退職不補充にあわせ、順次、民間委託を図っていく必要がある。								
	効率性	3	用務業務と定期清掃業務を一体で民間委託したことにより、経費節減が図られている。								
	手段の適切性	3	区の用務職員の定年退職に合わせ、効率的に委託化を推進している。委託契約の方法について、現行の競争入札とプロポーザル方式を比較検討するが、本事業開始から10年経過し業者の質も向上してきており、コスト削減と合わせ手段は適切に行われている。								
	目的達成度	4	施設の環境美化が良好に図られている。								
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること） 用務職員の退職にあわせ、順次、民間委託を図り、最終的には全校委託化する。					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				
						維持					